

「有って有る者」

1. はじめに

- ①モーセはアブラハム、イサク、ヤコブの流れの中であって、ヤコブの12人の子供のうち、レビの子孫として、エジプトで生まれた。当時のエジプトの政治状況により、生後三ヶ月でナイル川に捨てられた。しかし、パロの娘に拾われ、王女の息子として教育を受けた。彼がおとなになった時、同胞を省みた。そのことでトラブルが発生し、彼はミデヤンの地に逃れた。そして召命があった。

◎出エジプト 2、3章、使徒 7：20～36

2. 本文

1～6節

- ①燃える柴。2節

- ・神の顕現
- ・「モーセ、モーセ」と呼び掛けられる。
- 「はい。ここにあります。」

- ②あなたの立っている場所は、聖なる地である。5節

- ③わたしは、あなたの父の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。6節

7～12節

- ④わたしは、エジプトにいるわたしの民の悩みを確かに見た。彼らをカナンに上らせるためだ。7、8節。
- ⑤10節「今、行け。あなたをパロのもとに遣わそう。」11節神に申し上げた。「私はいったい何者なのでしょう。12節神は仰せられた。「わたしはあなたとともにいる。」

13～15節

- ⑥その名を何と答えたらいいのでしょうか。『わたしはある』という者である。」13節、14節

- ⑦神はさらに仰せられた。「あなたがたの祖父の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、**主**が、私をあなたがたのところに遣わされた、と言え。」15節

* 6章3節「わたしは、アブラハム、イサク、ヤコブに全能の神として現れたが、**主 (ヤハウェ)** という名では、わたしを彼らに知らせなかった。」

* 従って、主 (ヤハウェ) の意味は、「わたしはある、または永遠なるもの。」のようにモーセは思ったであろう。

・ルカ 20：38

「神は死んだ者の神ではありません。生きている者の神です。というのは、神に対しては、みなが生きているからです。」

3. まとめ

- ①モーセについて

- i) 同胞を助けようと思った。(2：11) 神に遣わされた。(3：10)
- ii) シナイ山で律法を授けられた。(20章)
- iii) カナンに入るまでの40年間の導き